



interview

学びの入口は「おもしろい」から

ふるさとについて学ぶことは、自分たちが暮らすまちを知り、誇りや愛着を育むことにつながります。子どもたちは、最初から地域の歴史や産業に興味を持つとは限りませんが、好きなことや楽しいことには驚くほど夢中になります。燕ジュニア検定

や、つばめっ子かるたは、そんな「おもしろい!」「もっと知りたい!」という気持ちを育てるためのものです。学びを通して、「燕っていいまちだな」と感じる子どもが1人でも増えたらうれしいです。

教育委員会 学校教育課
ながさわ 長沢主事

数字で見る 燕ジュニア検定

燕ジュニア検定のマスコット「つばけん博士」▲

これまでの受検者数(延べ)

38,000人
突破!

直近の受検者数推移

年 度	受検者数
2025 (令和7) 年度	3,041 人
2024 (令和6) 年度	3,170 人
2023 (令和5) 年度	3,314 人

知れば、知るほど、おもしろい!

燕ジュニア検定で 燕の魅力を再発見!



燕ジュニア検定とは?

ふるさと燕への誇りと愛着を育むことを目的に、平成24年度から実施しているのが「燕ジュニア検定」です。燕市の歴史や文化、産業、自然などについてまとめた「燕ジュニア検定問題集」をもとに出題され、市内の小学生が毎年挑戦しています。検定を通して、子どもたちは燕の魅力や先人たちの歩みを学び、自分たちが暮らすまちへの理解を深めています。現在は、学年や習熟度に応じて、「つばけんマスタートーク

ラス」・「つばけんクラス」・「チャレQクラス」・「つばめっ子かるたクラス」の4つの検定クラスを設けています。「つばけんマスタートーク」で満点を獲得した人は、「燕ジュニア博士」として認定され、表彰を受けます。検定は毎年11月の「新潟県教育月間」に合わせて実施され、近年は市内の全小中学生が参加する燕市の代表的なふるさと教育の取り組みとなっています。



▲燕ジュニア検定の詳細はこちら
※問題は四者択一式（つばめっ子かるたクラスのみ二者択一式）

問題集に載っている場所の歴史や魅力を知ることができました。



問題集を見ながら、家族とクイズを出し合ったりしています。



問題は難しいけど、燕の魅力を知るきっかけになりました。



子どもたちの声



今年で6回目の検定になります。次は100点を目指したいです!



友達と一緒に検定に向けて勉強を頑張っています。

特集

このまちが
好きになる、
学び

「ねえ、パパ知っている?」
子どもが先生になる夏。

「燕市のスポーツ大使って誰?」

「うさぎもちハレラテつばめの屋根って何をイメージしてるの?」

子どもから飛んできた質問に、思わず言葉が止まる。

実はこれ、燕ジュニア検定の問題です。

燕市の子どもたちは今、学校で『ふるさと燕』を学んでいます。

